

「ひょうごエコロコプロジェクト」における 園児向けプログラム実施後の 先生へのアンケート調査



自然・環境再生研究部 コミュニケーション・デザイン研究グループ 小舘 誓治



ゾウの からだに にている いろやもよう のきは？

これ～

▲プログラムを実施している様子

■ 先生からの評価等

ひとはくは、県の農政環境部環境政策課と協働で「ふるさと兵庫こども環境体験推進事業」（通称「ひょうごエコロコ[※]プロジェクト」）を推進しています。この事業は、エコロコスタッフ（ひとはくの研究者・コーディネーター、農政環境部の職員など）が幼稚園・保育所・こども園を訪問し、園児たちや先生方に対して自然や生きものに関するプログラム（「しぜんたいけん」など）を実施するものです。

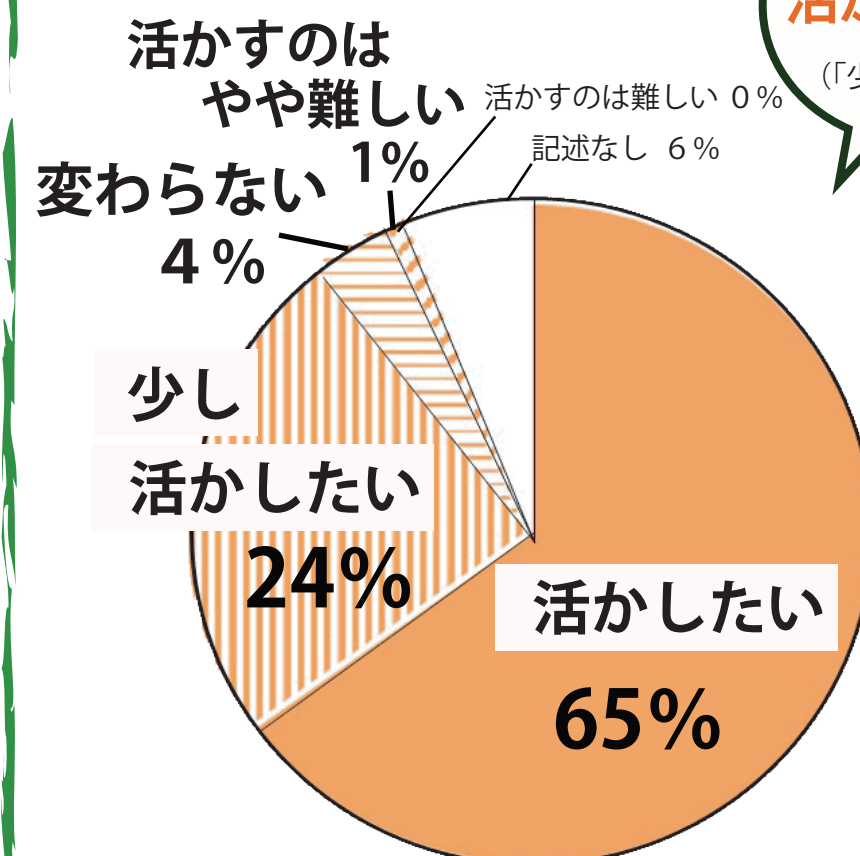
園児向けのプログラムの後に先生方にアンケートを実施して、その効果やご意見等を伺う調査を行っています。ここでは先生からの評価・意見等を紹介します。

※「エコロコ」とは、「エコロジー（環境）×ローカル（地域）×コドモ（子ども）」の造語

● 先生からの意見（自由記述から抜粋）

■ 設問①

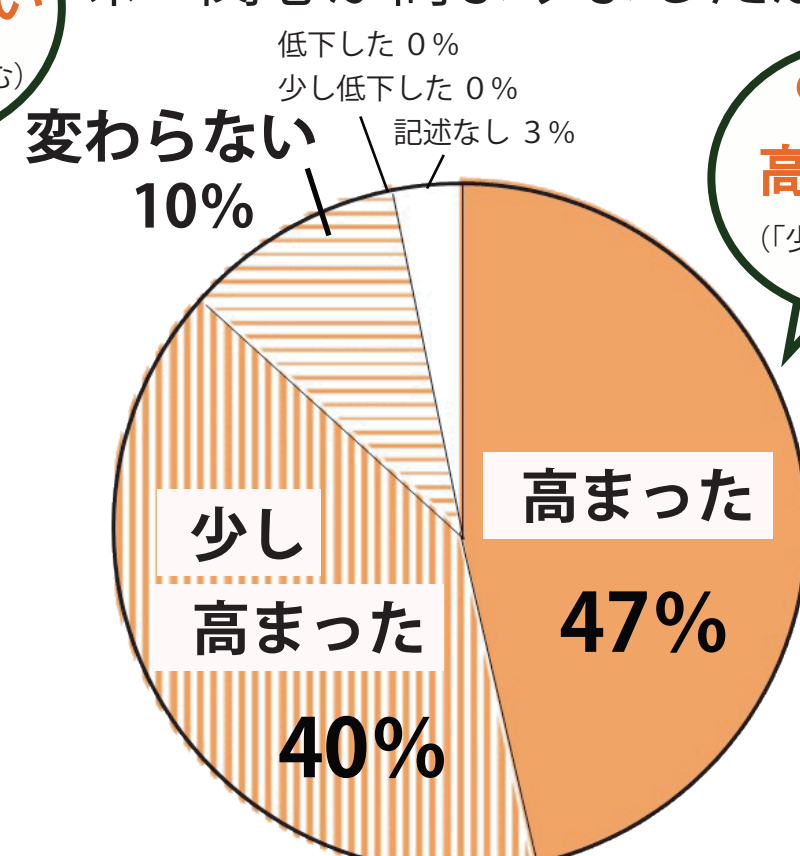
今回のプログラムを今後の保育や教育活動に活かしたいですか？



9割が活かしたい (「少し」も含む)

■ 設問②

今回のプログラムによって、以前よりも環境学習への興味・関心が高まりましたか？

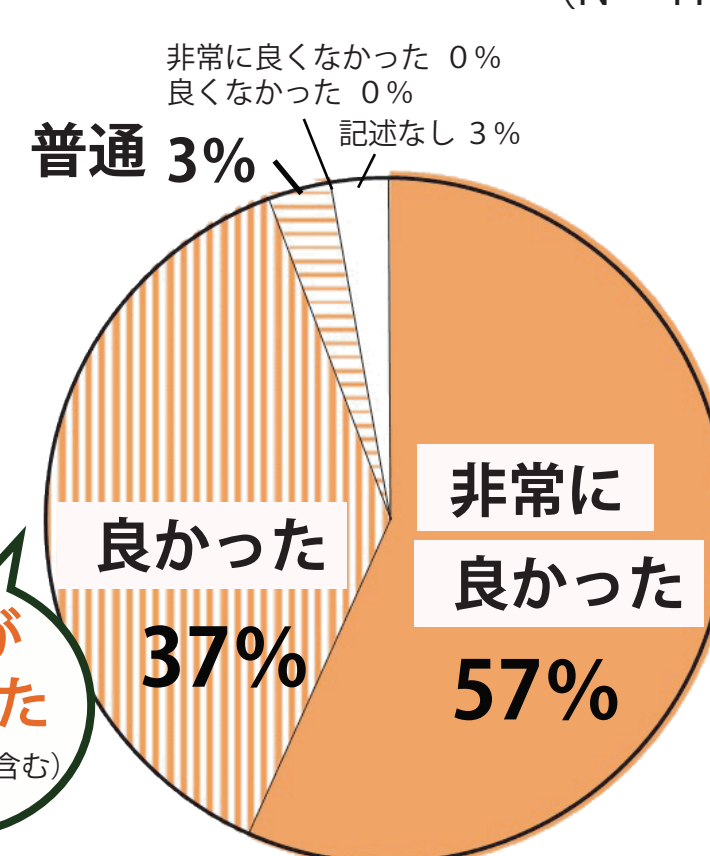


9割が高まった (「少し」も含む)

■ 設問③

プログラム全体に対する評価

対象：20代～60代の先生 (N=417)



9割が良かった (「非常に」も含む)

活かしたい

● 環境と関わる姿勢を教師自身もつけていきたいと感じました (公立幼稚園 20代)

高まった

● 身近ないつもいる場所が、こんなに楽しくて面白い発見があり、まだまだ知らなかったことが沢山あって、植物と虫にとっても興味関心が高まった (公立幼稚園 40代)

良かった

● その分野の得意な先生が、子どもに分かりやすく教えてくれたことは、子どもたちにとって1番印象に残る体験学習だったと思う (公立こども園 30代)